



# 校報 西栗栖

令和6年度6月 3日号

学校ホームページ URL  
<http://nishikurususyo.tatsuno.ed.jp/>

ここからがんばりどころです！

新年度が始まって2カ月もたつと、気が緩んできます。私が小学校6年のとき、近所のおばさんがいつも「がんばって登校班のお世話してくれて、ありがとう」と声をかけてくださり、1年間がんばりとおせたことを記憶しています。家族や地域のみなさんからの労いの声かけが、子どもの大きな力となります。お気づきになられたときには、どうぞよろしくお願いします。

## 1年生おめでとうの会 5/10



1年生にインタビュー、だるまさんが転んだ、おにごっこ、プレゼントを学年ごとに分担して会を企画しました。それぞれの司会を含め、自分たちで工夫を凝らしたこともあり、迎える側も笑顔いっぱいの会になりました。

## チャレンジウィーク（体づくり）& 体力テスト



体づくりとしてシャトルランや反復横跳びなどを中間休みや昼休みに練習しました。体力測定の一部は、縦割りグループで高学年が低学年の世話をしながら測定しました。全国的に子どもの体力低下が言われています。本校は少人数のため、「平均」では測り切れないものが多く、個々の課題を明確にして、体育の学習にも生かしたいと考えています。

## アルミ缶回収ご協力のお礼

校報4月号でお願いしていましたアルミ缶回収に多くの方のご協力をいただいていますことにお礼申し上げます。お陰で2～4月の収益は4, 1580円ありました。子どもたちの学習活動に使わせていただきます。今後も引き続きご協力のほどお願いします。

## 人権まなびい

## 誰もがくらしやすい社会へ

兵庫県でも「パートナーシップ制度」が始まるなど、LGBTQの方にもくらしやすい取組が進んでいます。しかしながら、災害発生後の避難生活で、LGBTQなど性的少数者は特有の困難に直面しています。能登半島地震でも、多くの問題が浮き彫りになりました。「仮設のお風呂は男女別のため入れない。1カ月近く入浴できていない」「周囲に明かしておらず、知られて生活や仕事ができなくなることを恐れて連絡できない」などです。

お風呂や更衣室を一人で使える時間帯を設ける。複数のトイレがあるのなら、そのうち一つに「誰でも」と書いた紙を張り、性別にかかわらず使えるとする一などで、異性の介助者がいる人など、性的少数者以外にも個別のニーズがある人たちに対応することができます。

東日本大震災をきっかけにたちあげられた「岩手レインボー・ネットワーク」では、性的少数者の困りごとをまとめた「にじいろ防災ガイド」（裏面参照）をインターネットで公開しています。代表の方は「平時の立場の弱さは、災害時には増幅される。存在が見えにくくても必要としている人は必ずいるので、行政はニーズを知って対応してほしい」とも話されていました。

※LGBTQとは、Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人）、QueerやQuestioning（クイアやクエスチョニング）の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ（性的少数者）を表す総称のひとつとしても使われることがあります。

## 【6月の主な行事予定】

- 4火 全校朝会、委員会活動
  - 5水 4年クリーンセンター見学
  - 6木 わくわくお話宅急便、1・2・4年田植え
  - 10月 学級費振替日 11火 避難訓練
  - 12水 プール掃除 18火 クラブ活動
  - 21金 4年海に学ぶ体験学習
  - 28金 参観日、PTA心肺蘇生講習会、5・6年説明会、PTA委員会
- ※毎週木曜日は教職員定時退勤日です。